

- 10 表示される画面の IP address 欄に、IPアドレスを割り振り入力してください。つぎに画面下部の "Apply" ボタンをクリックしてください。変更後の最終データがカメラに転送されます。



- 11 インターネットエクスプローラーを起動させ、ブラウザのアドレス欄に呼び出したい IQeye501 カメラのIPアドレスを入力してください。カメラのライブ画像が画面に表示されます。



- 12 表示された画面上でズーム、パン、チルト、画面サイズなどを選択して表示を変えることができます。

設定画面に入ることができます。ユーザーネーム欄には "root", またパスワードは "system" がデフォルト設定されています。



live 画面



setting 画面

* 東日本地域では蛍光灯下で画面にちらつき(フリッカー)が発生する場合があります。このカメラはメガピクセルのデジタルカメラであり、いわゆる標準TV方式の動作ではありませんので、東日本地域でご使用になる場合には、電源周波数を本来の50Hzに設定することで、ちらつき(フリッカー)が気にならないレベルまで改善できます。

なお、各機能ごとの詳しい説明は別途、機能設定要領を参照してください。

IQeye 501

1.3 メガピクセル ネットワークカメラ

スタートアップガイド



この度は IQeye 501 ネットワークカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このスタートアップガイドをよくお読みいただいた上で、正しい方法で接続してこの製品をご活用ください。

- 1 IQ501 カメラをネットワークに接続します。
接続の方法には2種類あります。



PoE機能^{*注1}を利用する場合。
電源をパソコンからLANケーブルに重畳させて1本のケーブルで済ませる方法です。
別売の専用POEアダプターを使用し、赤矢印 のコネクタにLANケーブル(ストレートタイプ)を接続してください。^{*注2}
電源をACアダプターから供給する場合です。
DC12 - 24Vの範囲で赤矢印 のコネクタからDC電源を供給してください。次に、赤矢印 のコネクタにLANケーブル(ストレートタイプ)を接続してください。

*注1 : IEEE 802.3af Power over Ethernet規格準拠。

*注2 : パソコンの仕様を確認してください。

- 2 付属の IQtools CD をパソコンのCDドライブに挿入し、起動させます。
自動で IQfinder 画面が立ち上がりますので、赤矢印の画面一番上の作業ボックス "Check if this PC is ready to view IQeye cameras" をクリックします。



IQtools 画面

- 3 "The computer does not have the necessary version of Java..." というメッセージ画面が表示された場合には、"Yes" をクリックします。
インターネットから必要なJavaをダウンロードする動作に入ります。
つづいてこの先の第5項に進んでください。

- 4 もし、英文で "Congratulations! Java version ..." というメッセージ画面が表示されましたら、ご使用のパソコンにはJava が正しくインストールされていますので、つづいてこの先の第6項に進んでください。

- 5 Java のインストールが完了したら、パソコンを再起動してください。
そのあと、再度 IQtools ソフトを立ち上げてください。

- 6 つぎにIQfinderソフトとカメラセットアップソフトをインストールします。赤矢印の作業ボックスを選択し、それぞれのソフトをインストールしてください。



IQtools 画面

- 7 次に、IQtools 画面から赤矢印の "Scan for IQeye cameras on my network" をクリックしてください。



IQtools 画面

ご使用のウィルスソフトによっては、カメラとの通信が拒絶される場合があります。
その場合は、一時的にプロテクトを"無効"に設定してください。そしてカメラ番号を取得後に、再度 プロテクトを "有効"に設定しなおします。

- 8 ネットワーク上で検知された IQeye カメラのリストが表示されます。



- 9 表示されたリストの中から、ひとつを選びカーソルを合わせてからクリックし表示させるカメラを選択します。
つづいて、画面の左下にある "Edit" ボタンをクリックします。

